

「土砂さいがいからいのちを守るために」

愛知県 春日井市立篠原小学校 3年 なかにし中西 ふみかず史和

ぼくは、よくニュースを見るのですが、毎年、夏ごろになると、ゲリラごう雨により、土砂さいがいにあい、たくさんの人いのちがなくなったニュースをよく目にします。ぼくも、ゲリラごう雨により、ひなんじゅんぴじょうほうが発表され、その時、どうしたらいいんだろうと不安になり、とまどった事がありました。その事をきっかけに、家族で、春日井市のハザードマップをかくにんして、話し合いました。また、町内会のさいがい教室にもさんかしました。しかし、話を聞くだけでは、いまいちイメージができず、不安になるばかりでした。そこで、ぼくは、図書館で土砂さいがいとは何なのか、土砂さいがいから、自分たちのいのちを守るためにはどうしたらいいのか、一から調べることにしました。そこで、三つの事が分かりました。

まず一つ目に、自分のすんでいる場所が、土砂さいがいけいかいいくいきかどうかを知る事が、大切だという事です。二つ目に、雨がふり出したら、土砂さいがいけいかいじょうほうにちゅう意する事です。そして、三つ目に土砂さいがいけいかいじょうほうが発表されたら、早めにひなんする事が、大切だと分かりました。

一つ目の土砂さいがいけいかいいくいきは、家族で話し合った時に、かくにんしていましたが、ひなん場所やひなんけい路までは、かくにんしていなかったので、もう一ど家族で話し合いました。土砂さいがいけいかいいくいきでなくても、土砂さいがいが発生することもあり、ふだんから土砂さいがいがおこりそうな所を知っておく事が、大切だと思いました。

次に、二つ目の土砂さいがいけいかいじょうほうについて、テレビやけいたい、ラジオで知る事ができますが、実さい、じょうほうが流れる前に、土砂さいがいにあつた地いきを、ニュースで見た事がありました。そこで、三つ目にあつた土砂さいがいけいかいじょうほうが発表されたら、早めにひなんする事も大切とありましたが、発表される前から、ひなんじゅんぴをする事が、一番大切な事だと気づきました。

このように、三つの事を知ったからこそ、土砂さいがいのこわさをあらためて、知る事ができました。また、大切な人いのちを守るためにも、調べた事を家族や友だちにも話し、土砂さいがいについて、ふだんから理かいしてもらえるように、話し合っていく事も大切だと思いました。